

坂井市社協だより

Topics

- 令和3年度事業計画・予算 2P~3P
- 第3次地域福祉活動計画紹介 4P~5P
- 坂井市共同募金委員会だより 6P
- 寄付・地域の活動紹介 7P

2021年
Vol.90

5 May



令和3年3月17日(水)に、『第3次坂井市地域福祉活動計画（かたいけのプラン）』が完成し、永田策定委員長及び奥野策定副委員長から本会の内田会長へ答申書が手渡されました。

令和3年度から令和8年度までの6年間を第3次計画の推進期間とし、「誰もが役割を持って活躍できる」地域共生社会の実現を目指して、地域の活動者の皆様とともに坂井市の地域福祉活動の推進を行っていきます。

この広報紙は赤い羽根共同募金の助成金を活用しています。



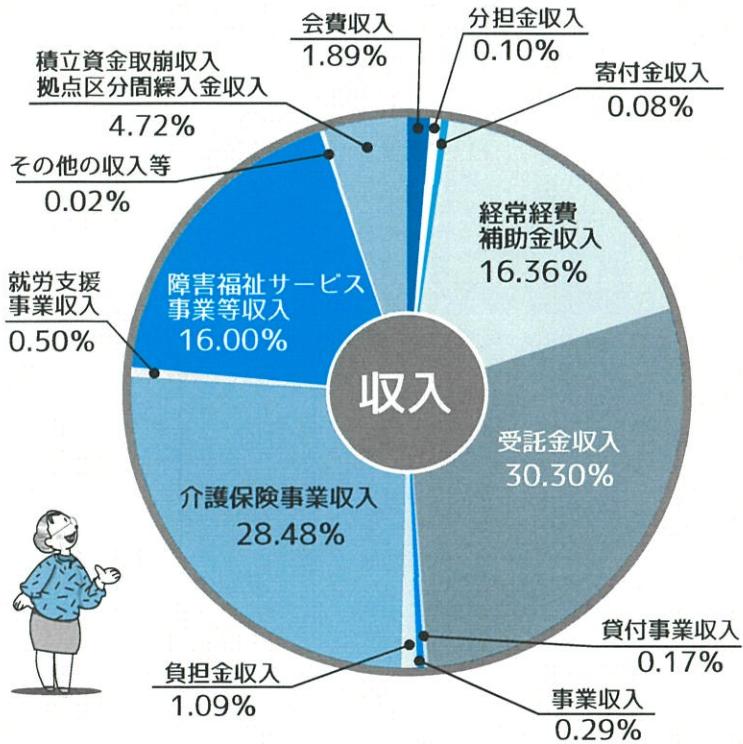
近年の急速な少子高齢化や核家族が進行する中で、住民一人ひとりが抱える生活課題は多様化し、かつ複雑化しています。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、生活様式や働き方にも大きな変化が生じ、地域福祉課題やボランティア活動等にも大きな影響を与えています。

国では「地域共生社会」の実現に向け、これまでの地域福祉活動の推進に加えて、地域包括ケアシステムや生活困窮者の自立支援などと共に、重層的に連動した「包括的支援体制づくり」を求めています。

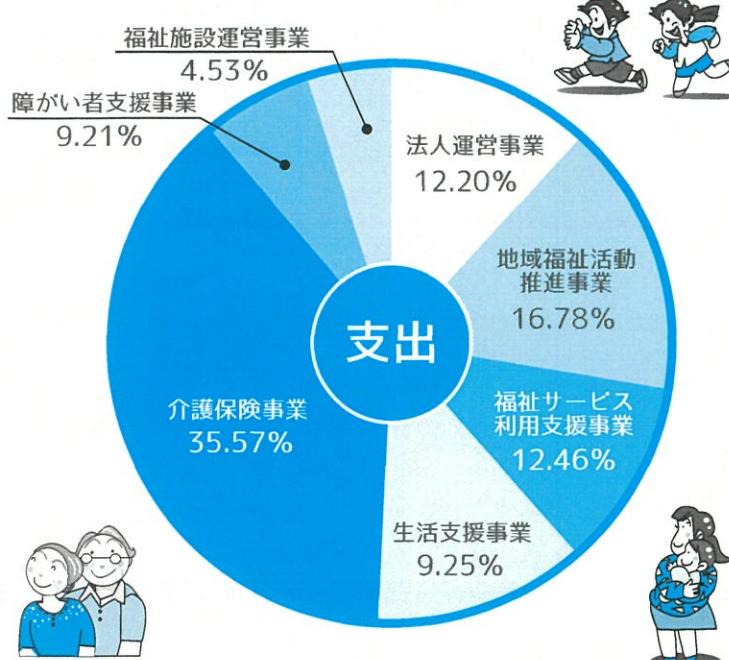
本会では、このような情勢の中、法令を遵守し、法人運営を基盤とした「第3次協発展・強化計画」を策定します。また、「第3次地域福祉活動計画（かたいけのプラン）」に則り、地域住民同士の支え合いや助け合い基盤の充実、人材の発掘育成の強化に取り組んでいきます。

本会は地域住民をはじめとして、区長、民生委員児童委員、福祉委員などの地域組織、市内の社会福祉施設、ボランティア団体など様々な会員からなる組織であることから、組織力を活かしながら、地域福祉の推進役としての役割を果たしていきます。

令和3年度 事業予算



合計予算額 収入	
会費収入	11,250
分担金収入	570
寄付金収入	455
経常経費補助金収入	97,538
受託金収入	180,631
貸付事業収入	1,000
事業収入	1,707
負担金収入	6,493
介護保険事業収入	169,756
就労支援事業収入	3,006
障害福祉サービス事業等収入	95,406
その他の収入等	141
積立資金取崩収入 拠点区分間繰入金収入	28,188
合計	596,141



合計予算額 支出	
法人運営事業	72,316
地域福祉活動推進事業	99,430
福祉サービス利用支援事業	73,829
生活支援事業	54,836
介護保険事業	210,822
障がい者支援事業	54,597
福祉施設運営事業	26,819
合計	592,649

令和3年度 坂井市社会福祉協議会の取り組み



坂井市社協は、あなたと一緒に あなたらしい幸せづくりを目指します



重点事業

1. 社会福祉法改正に則した
法人運営の強化
2. 持続可能な財政基盤の強化、
職員の専門性の向上
3. お互いさまの心で支えあえる
人づくりの推進
4. ふれあい、支え合いの地域づくりの推進
5. 福祉活動を応援する体制づくりの推進
6. 在宅福祉サービスの強化

法人運営事業

適切かつ市民に開かれた
法人運営を行います

- 組織運営事業
- 組織管理体制事業
- 財務運営事業
- 企画・広報事業
- 調査・研究事業



地域福祉活動推進事業

第3次地域福祉活動計画に基づき
「みんなが主役 ふだんのくらしの
しあわせづくり」を進めています

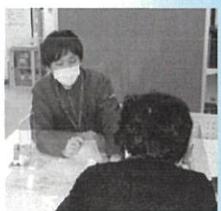
- 福祉のまちづくり事業
 - 小地域福祉推進事業
 - 小地域見守りネットワーク事業
 - 地域共生のまちづくり事業【新】
 - 参加支援事業【新】
- ボランティア活動推進事業
 - ボランティア・市民活動センター事業
 - 福祉の人づくり事業



福祉サービス利用支援事業

生活上のあらゆる困りごとや悩みごとを
解決できるよう支援します

- 福祉総合相談事業
- 日常生活自立支援事業
- 生活福祉資金貸付事業、
生活たすけあい事業
- 坂井市生活困窮者自立支援事業
- 坂井地域包括支援センター事業
- 障がい者特定相談支援事業



生活支援事業

高齢者や障がい者の生きがいと
健康づくりのために



- 介護予防・生活支援事業
- 生活支援サービス事業
- 当事者団体支援事業

介護保険事業

高齢者が住み慣れた地域で
暮らしつづけるために

- 居宅介護支援事業
- 訪問介護事業
- 訪問入浴介護事業
- 通所介護事業



障がい者支援事業

障がい者の地域生活を
応援するために



- 訪問介護事業
- 共生型生活介護事業
- 訪問入浴介護事業
- 就労継続支援B型事業
- 生活介護事業
- 放課後等デイサービス事業
- 日中一時支援事業

福祉施設運営事業

福祉コミュニティの
拠点づくりのために



- 春江総合福祉センター運営事業「いちい荘」
- 坂井老人福祉センター運営事業「志游館」
- あい愛センター運営事業
- 社協本部事務所運営事業
- 三国希望園指定管理運営事業



第3次坂井市地域福祉活動計画 (かたいけのプラン) が完成しました!!

会長 × 策定委員長 × 策定副委員長 懇談会



// だれかのSOSもみんなでなんとかできる社会へ //

— 策定に携わり、印象に残ったことを教えてください —

永田 坂井市は、市民の皆様が大変福祉活動に熱心に取り組まれて、熱い議論をされていたのが印象的でした。みんなが「何をやってくれるのか」ではなく「何をやるのか」と意見を出す様子をみても、地域福祉に対する住民の意識の高さを感じました。

会長 こういう方が坂井市にたくさんいるから、今の坂井市が成り立っているのだと私も感じています。特に、最後の委員会で委員からの「我々住民が福祉をやっていかなければいけないんだということに気づいた」という言葉はとてもうれしく、私たち社協もそんな住民の方を応援する仕組みづくりを頑張っていきたいと改めて思いました。

永田 専門職はすでに困っている人は助けることができても、どうしても SOS の発見が遅れてしまうことがあります。しかし、地域にはサロンや子ども食堂のような居場所や住民の皆さんの柔軟な発想の支え合い活動がたくさんあります。その活動の中で様々な課題が早期に発見され、きちんとした専門職の相談につながっていく流れがとても大切だと思っています。相談が終結した後も、困りごとを抱えた人の暮らしを支えてくれているのは、地域の皆さんのお力でもあります。計画も市と一体的に策定していますが、推進においても、市の包括的な相談支援と住民活動が一体的に取り組まれるように、行政とともに住民の暮らしと柔軟な発想の活動を後押しできる社協であってほしいと思います。

奥野 委員会に参加したメンバーとして、所属する団体の会議などで計画をわかりやすく説明し、参画する仲間を増やしていきたいと思いました。

会長 活動者の皆さんの熱い議論に触れて、社協も熱心に活動している活動者の熱意をどう広げていくかが大切と感じました。地域では思わぬところから福祉の話を聞きます。例えば、「包括支援センター」という言葉も、最近の言葉で、まだまだ一般的な言葉ではないと自分は思っていましたが、予期せぬところから聞こえます。そういう時に、住民の口コミ機能にはとても驚かされます。

やはり、人と人をつないでいるのは地域の皆さんであり、そういう皆さんの人と人がつながる力を応援するのが社協の一つの役割ではないかと感じています。活動者の皆さんの熱意や想いを地域の中でつなげ、より幅広い関係者に、地域福祉の取り組みに関わってもらえるよう支援していくことを課題として、社協も活動に取り組んでいきたいと思います。

— 「第3次計画」が完成しました。みなさんがこれからの福祉で大切なことや、計画に込めた坂井市の未来について教えてください —

奥野 自分の想いとして、福祉とは「見える福祉」や「楽しい福祉」であることが大切と思っています。この計画を今の活動に反映させ、楽しい福祉にしていきたいです。また、役を終えたら終わりの福祉活動ではなく、自分にもメリットがあると感じてもらえる工夫をしながら、皆さんにも楽しんで活動を長く続けてもらいたいと思います。楽しい活動の一つとしては、地域の中に家族以外の人とも気軽につながれる場所を作れたらとも思います。

永田 今年はコロナ禍で特に人とつながることが難しい状況でした。しかし、改めて人とつながることの大切さを感じた1年もありました。コロナウイルス感染症の流行は、社会的に弱い立場にある人の困難をいっそう拡大し、これまで貧困とは無縁に思われてきた人の生活も脅かすなど、地域で様々な福祉課題が生じました。しかし、どんな困難な状況でも、なんでも言い合える関係性が地域の中にたくさんでき、SOS をだれかに相談し、それをみんなで何とかしていける、そんな社会になってくれたらと思います。

会長 住民すべてが、福祉委員の役割を自然とできるようになっていってほしいと思います。一人で何人も見守るのは難しいです。「自分の家族だけが大切ということではなく、地域と一緒に生活する人々も、つながりができる、家族のように大切な人としてお互いに気遣い合い、見守り合い、助け合える」そんな福祉人がたくさんいる坂井市になっていってほしいと思います。

完成した第3次計画の内容をご紹介します!!

※第1次計画時から、「かたいけのプラン」は、「元気か」を気遣う優しい福井弁「かたいけの」を計画愛称として用いています。

「地域福祉活動計画」とは

少子高齢化、核家族化、地域社会の希薄化、多発する自然災害、コロナウイルス感染症の流行等、私たちの生活スタイルの変化は、ふだんのくらしにおいても、様々な新たな福祉課題に直面しています。しかし、いつの時代も変わらず、地域で暮らす人々が日常の中で、自分たちの生活を良くする福祉活動を行い、「ふだんのくらしのしあわせづくり」をしています。「地域福祉活動計画」は、地域住民、ボランティア、関係機関等の協働による住民主体の地域福祉活動を計画的、具体的にすすめていくことを目的とした行動計画です。

なお、第3次計画は坂井市の「地域福祉計画」と一体的に策定し、両計画が互いに補強・補完することにより、方向性をともにし、推進します。また、推進期間は、行政計画と同じく令和3年度から令和8年度までの6年間としています。

市地域福祉推進計画

基本目標 「みんなが主役 ふだんのくらしのしあわせづくり」

基本計画1 お互いさまのこころで支えあえる人づくり

- (1) おもいあえる心を育てよう
- (2) 福祉に関する広報・啓発をしよう
- (3) 福祉について学ぶ機会をつくろう
- (4) 一人ひとりが活躍できる活動を地域ですすめよう
- (5) 福祉の担い手を増やそう



基本計画2 ふれあい、支え合いの地域づくり

- (1) 誰もが集える居場所をつくろう
- (2) ご近所の気がかりな人を早期発見しよう
- (3) 地域を良くするために話し合える場をつくろう
- (4) 災害時も安心できる地域をつくろう



基本計画3 福祉活動を応援する体制づくり

- (1) 住民と専門職のつながりをつくろう
- (2) 民間の福祉活動を広げよう
- (3) 地域福祉の財源を確保しよう



みんなで自分ができる活動を考えましょう。
あなたの活動がきっとだれかのふくしになります。



支部住民福祉活動計画

支部（町）単位に設置している支部社会福祉協議会委員会にて、身近な地域で必要な取り組みを考え、実践していく活動内容を記載しています。

みくに支部住民福祉活動計画

スローガン

やさしさとあたたかさで みんなが安心して住める街 みくに

取組テーマ

1. 居場所づくり
2. つながりづくり
3. 地区ふくしの会の充実
4. 安心して暮らせる地域づくり



まるおか支部住民福祉活動計画

スローガン

広げよう地域に根ざした思いやり～一人も見逃さない幹づくり～

取組テーマ

1. つながりづくり
2. 連携づくり
3. 見守りの仕組みづくり
4. 子どもの参加・こころづくり



はるえ支部住民福祉活動計画

スローガン

思いやり 広がる地域に 幸せの輪

取組テーマ

1. 人財発掘・育成
2. 場づくり
3. つながりづくり
4. 見守りの強化



さかい支部住民福祉活動計画

スローガン

「かたいけの」「おかげさんで」ぬくもり感じるまち 坂井

取組テーマ

1. 福祉の理解促進
2. 居場所づくり
3. 見守り
4. 福祉の学び



坂井市共同募金委員会だより

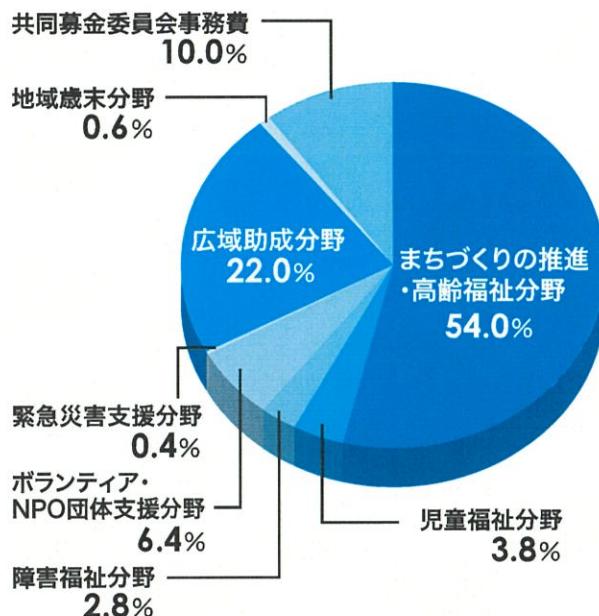


昨年度の赤い羽根共同募金運動では、新型コロナウイルス感染症拡大が長期化し募金運動も厳しい状況の中、市民の皆さまからのご支援により、総額16,859,969円の心温まる募金をお寄せいただきありがとうございました。

募金については、坂井市内のボランティア団体やNPO団体、社会福祉協議会等が令和3年度に取り組む事業活動へ助成され、地域の福祉を推進するために大切に活用させていただきます。

これからも赤い羽根共同募金にご協力をよろしくお願いします。

昨年度寄せられた共同募金の使いみち



各分野ごとの配分金

● まちづくりの推進・高齢福祉分野 9,110,969円

区の掲示板・ゴミステーション・遊具等の修繕や、地域の見守りを推進する地域福祉推進基礎組織等の活動費に活用されます。

また、福祉に関する情報発信としての社協だより等や社会福祉大会の開催にも活用されます。

● 児童福祉分野 649,000円

学校教育における福祉教育に活用されます。

● 障害福祉分野 469,000円

車いす無料貸出事業や通院等の移送サービスに活用されます。

● ボランティア・NPO団体支援分野 1,070,000円

ボランティアやNPO団体の活動費に活用されます。

● 緊急災害支援分野 61,000円

火災等で罹災した世帯への支援に活用されます。

● 広域助成分野 3,715,000円

県域で活動するボランティア活動や、防災・被災地支援等に活用されます。

● 地域歳末分野(令和2年度配分) 107,000円

歳末に行われる地域福祉の推進を目的とした活動に活用されます。

● 共同募金委員会事務費 1,678,000円

共同募金運動に伴う資材等に活用されます。

共同募金の助成配分を受ける団体からのお知らせ

出張します

貴方と私のゆかいな音楽会 で楽しいひとときを過ごしませんか?

なぞなぞ遊び 健康体操 カラオケ大会
全員参加のゆかいな音楽会です。

連絡先：ハーモニカ同好会 虹の会 北山國雄まで
TEL: 090-8090-5640
メール: k-ktym.331@sky.plala.or.jp



会員募集

春江大好き プロジェクト

サロン等で、高齢者の方に落語を聴いてもらい、
心に栄養をもって穏やかに過ごせるようお手伝い
をさせていただきます。

一緒に活動してくださる会員を募集中です！

連絡先：090-4323-3714 (木川)



寄付金・賛助会費・共同募金

(令和3年3月1日～令和3年4月30日)

ありがとうございました

寄付金

長畠第二コミュニティセンター	2,740円
料理講座生一同	
芝政ワールド	25,000円
藤澤 芳雄	100,000円
匿名 3件	4,520円

賛助会費

川上 善行	川上 順子	匿名2名
佐々木 範子		

共同募金

ハンドケアグループほっこり タビィーザ	匿名1件
(敬称略・順不同)	

坂井市共同募金委員会だよりにおいて、木部新保鬼辺太鼓保存会様、三国婦人会様のお名前掲載漏れがありましたこと謹んでお詫び申し上げます。

ふくし人★バトン

春江町内で子ども食堂の活動をしています。地域のつながりをもっと馴染み深くしたい。

多くの子ども達が、経験豊かな大人達と過ごす時間は、これからの自分作りに役に立つと思っています。

4月から、のびのび畠体験を始めました。思いっきり笑う、汗をかく、泥だらけになる…

ぜひ参加してなりたい自分を見つけてください。

子ども食堂 はあと実 山腰 容子



地域福祉推進基礎組織ご紹介

公園台福祉の会

地区名	三国町公園台地区
人口	2,333人
高齢化率	20.9% (令和2年3月現在)
組織構成	区長、民生委員・児童委員、福祉委員、各種団体代表者、協力員など
活動内容	いきいきサロン、福祉マップづくり、災害時住民台帳作成、研修会など



R2.11 個人情報研修会のようす

※地域福祉推進基礎組織とは、コミュニティセンター単位もしくはより細かな地域で、住民主体による地域活動に取り組む住民組織。地区ふくしの会など。

会員からのコメント

公園台福祉の会では、月1回のいきいきサロンの開催をはじめ、年1回の「福祉マップづくり」や、地区的全世帯を対象にした「災害時に役立つための住民台帳」の作成をとおして、平常時も、災害時も皆が安心して暮らせる地区を目指して見守り活動を行っています。

個人情報に触れる機会も多いことから、昨年は、「ふくし活動(支え合い)と個人情報」というテーマで研修会を開き、日頃の活動で気をつけなければいけないことを学びました。

今年も、コロナウイルスの影響は続きそうですが、感染対策を取りながら、活動を続けていきたいと思っています。

あなたの町の集いの場

サロン名	下兵庫たんぽぽサロン会(坂井町)
開催数	年12回
参加者数	約20名
主な取組	レクリエーション・脳トレ 出前講座・世代間交流会

ここがポイント

「おはよう」「かわりないかあ…」「かたかったかのぉ～」とおしゃべりに花が咲くサロンです。

体と頭と心を楽しく弾ませ、たくさんの元気が湧いてきます。人生100年時代健やかにすごせるよう続けていきたい「つどいの場」です。

また、もうひとつの楽しみ！地区の食生活改善推進委員、老人会の協力を頂き、昼ごはん・デザート・持ち帰り弁当伝承料理づくりを参加者と共に楽しんでいましたが、現在はコロナ禍のため中止しています。



H30撮影



相談のご案内

無料法律相談

会場	いきいきサロンセンター あい愛 TEL 82-1170	坂井市役所 丸岡支所 TEL 68-5060	春江総合福祉センター (いちい莊) TEL 51-4545	坂井市社協本部 TEL 68-5070
6月	無料法律相談 7日(月) 坪田 康男 弁護士	無料法律相談 8日(火) 井筒 智子 弁護士	無料法律相談 16日(水) 清水 孝行 弁護士	無料法律相談 24日(木) 村上 昌寛 弁護士
7月	無料法律相談 5日(月) 黒田 外来彦 弁護士	無料法律相談 13日(火) 川上 賢正 弁護士	無料法律相談 21日(水) 青山 昌平 弁護士	無料法律相談 29日(木) 端 将一郎 弁護士

無料法律相談…開催時間は、13:00～16:00です。

各会場、開催日1週間前から電話予約にて受付します。※先着9名までお一人20分
相談予約、お問い合わせは、市社協／各支部まで。

※相談者は、新型コロナウイルス感染予防のため、マスク着用、手指消毒、検温等のご協力をお願いします。

結婚相談

会場	三国コミュニティセンター	いきいきプラザ霞の郷	春江中コミュニティセンター	坂井老人福祉センター
6月	13日(日)、28日(月)	7日(月)、21日(月)	2日(水)、16日(水) 5日(土)、19日(土)	3日(木)、17日(木)
7月	11日(日)、26日(月)	5日(月)	7日(水)、21日(水) 3日(土)、17日(土)	1日(木)、15日(木)

結婚相談…相談員は、坂井市婦人福祉協議会の方です。

開催時間は、13:00～16:00です。

春江中コミュニティセンターの土曜日については、10:00～15:00です。

お問合せ先：坂井市婦人福祉協議会 会長 山崎まで 090-2123-0622

社会福祉法人 坂井市社会福祉協議会

●本部

〒919-0521 坂井市坂井町下新庄18-3-1
総務課 TEL 0776-68-5070 FAX 0776-67-2807
 E-mail : sakaicityshakyo@lake.ocn.ne.jp

地域福祉課 TEL 67-0699 FAX 67-2807
坂井市坂井地域包括支援センター TEL 67-5000 FAX 67-2807
ケアプランセンター TEL 67-5180 FAX 67-2807
ホームヘルパーステーション TEL 67-5152 FAX 67-2807

●みくに支部

〒913-0021 坂井市三国町楽円53-16-1 (いきいきサロンセンターあい愛内)
 TEL 82-1170 FAX 82-1593
いきいきサロンセンターあい愛 TEL 82-2020 FAX 82-1593

●まるおか支部

〒910-0242 坂井市丸岡町西里丸岡12-21-1 (坂井市役所 丸岡支所内)
 TEL 68-5060 FAX 67-2950

●はるえ支部

〒919-0412 坂井市春江町江留中10-15-1 (春江総合福祉センター内)
 TEL 51-4545 FAX 51-6269

●さかい支部

〒919-0521 坂井市坂井町下新庄18-3-1(本部内)
 TEL 67-0699 FAX 67-2807

●三国希望園

〒913-0031 坂井市三国町新保42-2-7
 TEL 82-2365 FAX 82-2664

のぞみ TEL 82-3440 FAX 82-2664
れんげキッズ(れんげ) TEL 82-4440 FAX 82-2664

●霞の郷デイサービスセンター

〒910-0224 坂井市丸岡町八ヶ郷21-7-1 (いきいきプラザ霞の郷内)
 TEL 68-5065 FAX 68-0067

●坂井老人福祉センター

〒919-0521 坂井市坂井町下新庄19-1
 TEL 67-0640
訪問入浴ステーション TEL 67-5181 FAX 67-2807

春キャベツのごまコールスロー



エネルギー 98 kcal (1人分)

★材料 (1人分)★

キャベツ	75 g
きゅうり	25 g
玉葱	10 g
レモン	1 g
酢	20cc
砂糖	5 g
塩	0.1 g
こしょう	少々
白ごま	10 g

★ポイント★

水気が出ないよう、食べる直前に調味料を加える。

3月～5月頃にかけて頻繁に見かけるようになる春キャベツ。
やわらかく甘みがあり、ビタミンCやK、カルシウム、食物繊維のほかうます
成分であるグルタミン酸を含み、生でも加熱しても食べやすい万能野菜です。

おじいちゃんおばあちゃんも

食べてニッヨリ

霞の郷デイサービスの

～超簡単！レシピ～

★作り方★

- ①キャベツは千切り、玉葱は薄切り、きゅうりは千切りにしておく。
- ②①を氷水の入ったボウルに入れてパリッとさせる。
- ③レモンはよく洗い、いちょう切りにしておく。
- ④ボウルに調味料を合わせ、水気をしっかり切った②と③を加え混ぜ合わせる。
- ⑤皿に盛り付け、炒った白ごまをたっぷりふりかける。